

平成30年度事業計画

Ⅰ. 公益目的事業

(1) クラフトデザインの公募に関する募集、審査、受賞対象の発表、表彰に係る事業 (公益目的事業1)

1960年に第1回展を開催して以来、ほぼ毎年開催しており日本のクラフトデザインの礎を築き現代の文化として確立してきた。公募展事業を通じ人々の暮らしに欠くことのできないデザイン分野として日本のクラフトデザイン文化・人々の生活文化の向上、人材育成を目的とする。

○第58回日本クラフト展

会 期：平成31年1月6日（月）～14日（月・祝）（予定）

会 場：東京ミッドタウン・デザインハブ 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

展示内容：会員作品 一般・学生公募入選作品

作品点数：約800点

賞（予定）：経済産業大臣賞・日本クラフト大賞 優秀賞 毎日新聞社賞 招待審査員賞
U35賞 学生賞 奨励賞

審査員：招待審査員 JCDA会員

募集方法：公募は応募要項を配布、ホームページでも周知を行い応募登録を行う

応募資格：個人・グループ・法人

〈併催事業〉

- ・素材別作品解説（予定）
- ・トークイベント等の開催（予定）

(2) クラフトデザインの啓発及び人材育成に関する事業 (公益目的事業2)

一般の方々や次代を担う子供たちにモノづくりの素晴らしさ、我が国が育んできたクラフト・工芸文化の技と知恵をワークショップやセミナー等を通じて知ってもらい、将来のクラフトデザイン文化の担い手、または文化形成の礎となる生活者の一人として理解を深めてもらうことを目的とする。

○親子ふれあいワークショップ

- ・小学生とその親を対象として夏期、冬期にそれぞれ実施する
- ・素材とそれを取り巻く環境や人々の暮らしとの関わり等のレクチャーを実施し、クラフトデザインへの理解を深める
- ・夏期ワークショップの実施風景（写真・スライドショー）を第58回日本クラフト展会期中に発表する

○テクニカル・セミナー

- ・一般の方々を対象としたワークショップまたはセミナー等を実施する
- ・素材や技法を紹介することでクラフトデザインへの関心を高める
- ・第58回日本クラフト展会期中に実施する

(3) 全国の優秀なクラフトデザインを展示等によって

人々の生活文化の向上に寄与する事業 (公益目的事業3)

素材・分野共に総合的、且つ全国規模の優秀なクラフトデザインを地方または海外に於いて紹介する事業である。その地域や近隣の人々にとってクラフトデザインを通じて生活の文化的豊かさを高める機会となる。クラフトデザイン文化を広く定着させ向上させていくことを目的とする。

○加計美術館に於けるJCDA会員展

会 期：平成30年 10月上旬 10日間の会期を予定

会 場：加計美術館 (岡山県倉敷市中央1-4-7)

出展者数：40名程を予定

倉敷美観地区の中心に立地する加計美術館1～3Fを使用する
JCDA会員作品の幅の広さ、質の高さを紹介する
会期中には作品解説、ギャラリートークを行う予定

(4) クラフトデザインの冊子、インターネットを用いた情報発信によって、

人々の生活文化の向上に寄与する事業 (公益目的事業4)

クラフトデザインに関する最新の情報を冊子、ホームページ、メールマガジン等によって提供する。個々の情報ツールの特性を活かしながら総合的に情報発信することを目的とする。

○情報誌Craft Design vol 26・27 発行

A4 カラー 20頁

○ウェブサイト、Facebookページによる情報発信

○メールマガジンによる情報発信 毎月1回発行

(5) クラフトデザインの展示による情報発信によって、

人々の生活文化の向上に寄与する事業 (公益目的事業5)

幅広い関係者との情報交流の場とする。当法人でブースを設けることにより多岐に亙るクラフトデザインの最新情報を広く提供することを目的とする。

○東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019 JCDAデザイナーズブース出展

会 期：平成31年2月12日(火)～15日(金)

会 場：東京ビックサイト

事業内容：会員及び各地でクラフトデザインの向上に取り組んでいる行政団体、地域、グループの取り組みの成果等を発表する

II 収益事業等

(1) クラフトデザインに関する書籍等の販売（収益事業1）

- 日本クラフト展作品集及びその他の書籍等資料を販売する

(2) 展示による会員内外の相互交流（その他の事業1）

- クルン高岡B1ギャラリー JCDAスペース企画展示
- 加計美術館に於けるショップでの作品展（岡山県倉敷市）
- チャリティーマーケット
第58回日本クラフト展会期中に開催 収益の一部を震災等の支援組織に寄付をする

(3) 会員相互の交流事業（その他の事業2）

- 研修会「伝統と今が交差する 杜の都・仙台－塩竈－松島」及び総会后懇親会の実施
実施日：平成30年6月2日（土）
定時総会と連動させて、宮城県内の施設や美術館を見学・研修を行う
- 東京国立近代美術館工芸館研究会
収蔵作品を美術館内で借用し、作品や歴史等に関するレクチャー及びディスカッションを行う
平成30年7月、平成31年3月の2回の実施を予定

(4) 国内外関連団体との連絡及び協調(その他の事業3)

- ドイツ「Talente 2019」の参加
応募者の選定及び応募手続きの代行と書類作成のサポート
- 日本デザイン団体協議会（D-8）会議への参加
- 国内外関連諸団体の事業への後援・協賛・協力

III 管理等

- 会議開催 総会及び理事会の開催準備
- 諸規定の整備 内部規程の見直しと整備
- 予算書の原案作成
- 決算書の作成及び財務全般の管理
- 組織活性化（会員拡大）
- JCDAパンフレットの更新
- JCDA通信（会員向）の発行
- 会員の福利厚生の充実（文芸美術国民健康保険・PL保険・各種保険の紹介及び加入促進）
- 新規事業の検討
- 財務運営の見直しと検討

平成30年3月3日

公益社団法人 日本クラフトデザイン協会